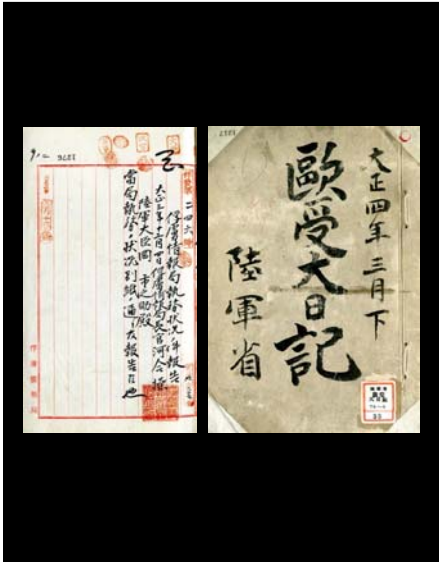


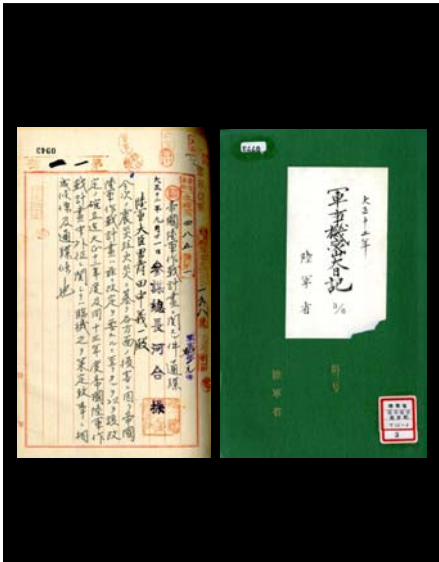
平成 24 年度は、歴代陸軍参謀総長及び海軍軍令部長の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物の関連史料を紹介しています。

《 ^{かわい}河合 ^{みさお}操 1864～1941年 《
—関東大震災時の参謀総長—



情報局執務状況報告（登録番号：欧受大日記-T4-6-33）

河合操大將は、明治 19 年 6 月、陸軍少尉に任官、その後、第 1 師団長、参謀総長等の要職を歴任しました。この史料は、第一次世界大戦勃発後、俘虜情報局長官となった河合操少将が、陸軍大臣岡市之助中将に報告した大正 3 年 12 月 4 日付の「俘虜情報局執務状況ノ件」です。このなかで、「戦争ニ伴フ各國情報局ノ行動ハ後日世界ニ紹介セラルルノ機會アルヲ豫想シ十一月五日當局ハ其執務ノ情況殊ニ情報發送ニ関スル特異ノ事項竝俘虜及戦死者ノ情況ニ關シ詳細通報ス」ことなどが報告されています。俘虜情報局は、「陸戦ノ法規慣例ニ關スル規則」（明治 45 年条約第 4 号付属）により設置するもので、細部は「俘虜情報局官制」（大正 3 年勅令第 192 号）に定められていました。



帝国陸軍作戦計画（登録番号：軍事機密大日記-T12-3-3）

関東大震災が発生した大正 12 年 9 月 1 日、河合大將は参謀総長を務めていました。この史料は、河合参謀総長から陸軍大臣田中義一大將に通牒された大正 12 年 9 月 21 日付の「帝国陸軍作戦計画ニ関スル件」です。このなかで、「今次ノ震災竝火災ニ基ク各方面ノ損害ニ因リ帝国陸軍作戦計画ハ茲ニ改定ヲ要スルニ至リタルヲ以テ該改定ノ確立迄大正十二年度及同十三年度帝国陸軍作戦計画中外征ニ関シテハ臨機之ヲ策定致事ニ相成候」と記しています。関東大震災による影響は国家財政にも及び、すでに大正 11 年と 12 年に軍備整理（山梨軍縮）を実施した陸軍は、大正 14 年 4 月、さらに 4 個師団を廃止するという第三次軍備整理（宇垣軍縮）に着手することになります。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない一時的に閲覧できない史料があります。
詳しくは、防研ウェブサイト「お知らせ」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断引用はお断りします。
防衛研究所企画部企画調整課
専用線：8-67-6522、6588（史料紹介コーナーのみ6668）
外線：03-3713-5912
FAX：03-3713-6149 E-mail：nidsnews@nids.go.jp
※ 防衛研究所ウェブサイト：http://www.nids.go.jp